



長野市公文書館が移転します

長野市公文書館は、平成19年(2007)11月20日長野市城山分室にオープンしました。開館して12年目を迎えましたが、建物の老朽化等により城山分室を閉鎖することに伴い、長野市若里の旧フルネットセンターへ移転することになりました。2月から、移転先の旧フルネットセンターの改修工事も始まっています。



長野市城山分室(平成31年3月2日)



移転先の旧フルネットセンター(平成31年3月2日)

これまでに当館で保存公開されてきた公文書・行政刊行物・写真資料・地図・古文書などはおおよそ15万点余りに上ります。移転にあたり、今後の公文書館の在り方を考え、公文書等の確実な保存と市民の皆様の利用のしやすさを第一に考えて移転計画を進めています。平成30年度に保存年限が終了した市役所文書の移管作業や古文書等の整理・保存作業は、できるだけ例年通り進めながらの移転作業となります。

○移転作業のため、平成31年4月1日～同年11月下旬まで休館の予定です。

開館日は、後日お知らせします。

○公文書館主催の講演会は実施の予定です。

昨年3月に蔵春閣が閉館し、信濃美術館も2021年度開館に向けて新築工事が始められます。城山公園周辺が変貌しています。

長野市城山分室は、元NHK長野放送局(昭和6年(1931)3月8日開局)として使用されていた建物です。長野県のラジオ・テレビ放送の要となった所ですが、平成10年の長野オリンピック・パラリンピックに向けて、放送局は若里に移転しました。建物は長野市城山分室として長野市公文書館や長野広域連合、長野マラソン大会事務局等が使用してきました。旧フルネットセンターの改修工事が終了後、移転作業が本格化していきます。



取り壊された信濃美術館の跡地と改修中の東山魁夷館(平成31年3月13日)

移転・休館にあたり
利用者の皆様にご迷惑
をおかけしますが、
ご理解とご協力をお願い
いたします。





【活動記録】

- 2/28 文献史料保存活用講習会に職員2人出席

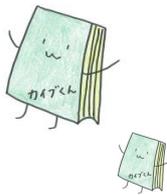
横の下張文書の剥がし方を勉強しましたー



- 3/12.13 非現用文書調査(市役所地下書庫・栗田書庫)
- 3/14 県史料協理事会出席
- 4/1~ 移転のため休館

【整理が済んだ資料】

- 長野市非現用文書 314点
- 百舌原区有文書 64点
- 宮澤恭志家文書 627点
- 高池家文書(大豆島村) 72点
- 行政刊行物 80点



『市誌研究ながの』

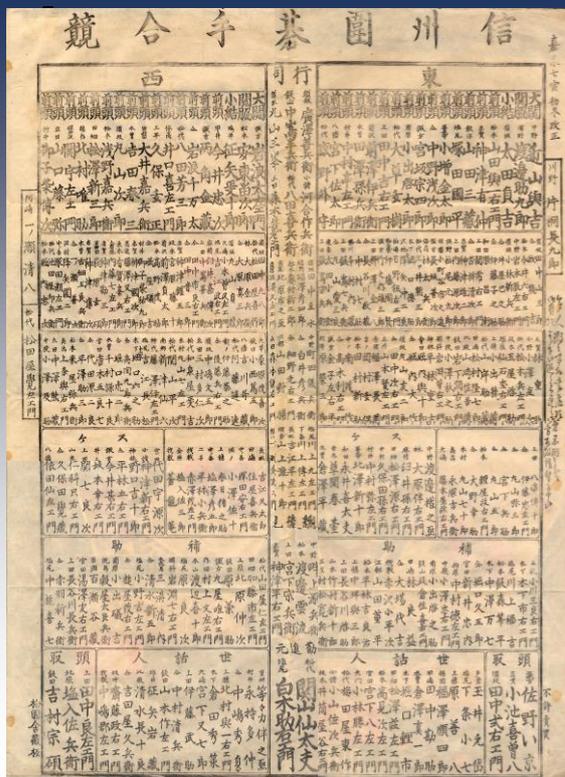
26号好評発売中!



今号は、「長野の出版文化」と題した講演収録や、古代遺跡から探った評(官)衙の機能、近世中期の煤鼻(樺花)川の災害、『善光寺史』著者・酒井衡平の評伝、没後百年を迎えた松井須磨子の墓所に関する考察等論文・研究ノート10編を収録しています。

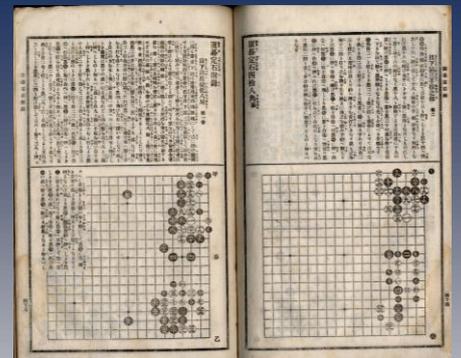
★B5判・240頁、頒布価格1500円(税込)

※書籍の販売は5月31日(金)まで行います。祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までです。



古 50-435

古文書紹介



古 153-2-12

最近人気の囲碁ですが、その歴史は古く遣唐使が日本に伝えたと言われていいます。その後、平安時代、貴族の間で嗜まれ、室町時代に武家や庶民にも広がり、戦国時代には、多くの武将が戦いのシミュレーションに用いたり、また、勉強嫌いの子どものために囲碁を学ばせた將軍もいるとか。江戸時代には一大ブームになりました。

今回ご紹介する古文書は、立岩嘉雄文書から「信州囲碁手合競」(古 50-435 左)という嘉永7年(1854年)に作成された番付表と、松田家文書から「圍碁獨習定石解全」(古 153-2-12 上)という明治40年(1907年)に出ている攻略本です。全国的に人気の囲碁はここ信州でも盛んに行われたようで、各地に大勢の猛者がいたのが伺えます。

その後一旦は下火になったこともありましたが、囲碁が、マンガやアニメになったこともあり、若い人にも広まって再びブームになりました。

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
 電話 026-232-8050 F A X 026-232-8051
 H P <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>
 又は 長野市公文書館 で検索
 E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp

こんなときにはご相談ください。

- ☆古い土蔵などを取り壊すので、古文書や古い写真等の所蔵資料を寄贈・寄託したい。
- ☆所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。